

令和6年度 丸山晚霞記念館運営委員会

会議次第

日時：令和7年2月19日（水）

午後2時から

場所：東御市役所2階 第三委員会室

・ 委嘱書交付

1 開会

2 市長あいさつ

3 運営委員会の役割について

4 役員の選任

会長

副会長

副会長

5 諮問

6 報告事項

(1) 令和6年度運営状況について

資料1 (p2～p7)

7 審議事項

(1) 令和6年度取得作品（案）について

資料2 (p8～p11)

(2) 令和7年度事業計画（案）について

資料3 (p12、p13)

8 答申

9 その他

10 閉会

丸山晚霞記念館運営委員会 名簿

任期:令和6年4月1日から令和8年3月31日まで(2年間)

委員

(順不同、敬称略)

氏名	所属等	備考
木内 真由美	伊那文化会館 学芸員	
滝澤 正幸	上田市立信濃国分寺資料館 学芸員 (上田小県地域美術史専門研究者)	
直井 良一	東御市教育委員 (東御市教育委員会 推薦)	
早川 一夫	一般社団法人信州とうみ観光協会 事務局長	
林 誠	長野県立歴史館 学芸員 (長野県美術史専門研究者)	
増田 敏	特定非営利活動法人Js文化フォーラム 理事長	
武田 敦子	上小美術教育研究会 会長 (上田市立長小学校 教頭)	新任
矢島 守	小諸市立藤村記念館 館長	
塚田 篤	祢津地域づくりの会 事務局	新任
柳沢 正和	丸山晚霞記念館協力会 会長	

事務局

氏名	所属等	備考
井上 祐一	企画振興部 部長	
高橋 則幸	文化・スポーツ振興課 課長	
日向 大季	文化振興係長	
依田 竜之介	文化振興係	
佐藤 聡史	丸山晚霞記念館 館長	

(1) 令和6年度運営状況について（令和7年1月末時点）

事業総括表

月	常設展	企画展
4	美しき明治の水彩画 (4/6～6/30)	
5		
6		
7	美しき明治の水彩画 2 (7/6～9/1)	
8		
9		吉田遠志展 私たちは見つめられている (9/14～12/1)
10		
11		
12	水彩の明星 丸山晚霞 (12/21～3/30)	
1		
2		
3		

① 展示

ア 常設展

期間	展覧会名	概要	観覧者 (人)	開催 日数 (日)	一日 平均 (人)
4月1日 ～ 6月30日	美しき明治の水 彩画	春から夏にかけての風景画を展示。	279	71	3.93
7月6日 ～ 9月1日	美しき明治の水 彩画 2	夏から秋にかけての風景画を展示。	53	109	0.49
12月21日 ～ 3月30日	水彩の明星 丸 山晚霞	丸山晚霞に加え三宅克己、浅井忠、吉田 博も展示。	75	122	0.61

イ 企画展

期間	展覧会名	概要	観覧者 (人)	開催 日数 (日)	一日 平均 (人)	収入 (円)
9月14日 ～ 12月1日	吉田遠志展 私たちは見つめ られている	吉田遠志初の回顧展。版画、ス ケッチ、絵本原画200点	2,572	66	38.97	1,054,500

開催日	企画名	概要	参加者 (人)
9月16日	親子鑑賞教室、絵本読み聞かせ	吉田遠志の動物絵本シリーズの読み聞かせと、原 画の一部を特別公開	22
9月29日	講演：父吉田遠志を語る 実演：清麗の舞の摺り過程	遠志五男・吉田司氏の講演と、専属摺師の沼辺伸 吉氏による吉田遠志作品の摺り実演	125
10月12日	スケッチ大会&アートチャレンジ	動物スケッチとワークショップ	210
10月14日	館長ギャラリートーク 吉田博から吉田遠志へ	吉田博と遠志の知られざる葛藤や、戦後の木版画 史に残した功績などを紹介	18
10月26日	絵本朗読、スペシャルコン サート	吉田遠志の動物絵本シリーズの朗読、作品とコラ ボした楽曲の演奏	180
11月2、 16日	やえはら人形をつくろう	動物や家族など、身近なテーマで粘土人形を作成	4
11月9日	本格木版画に挑戦	吉田版画アカデミー会員・杉山修氏、吉田司氏に よるハガキ大の多色摺り木版画ワークショップ	6

ウ 年間入館料・入館者数実績

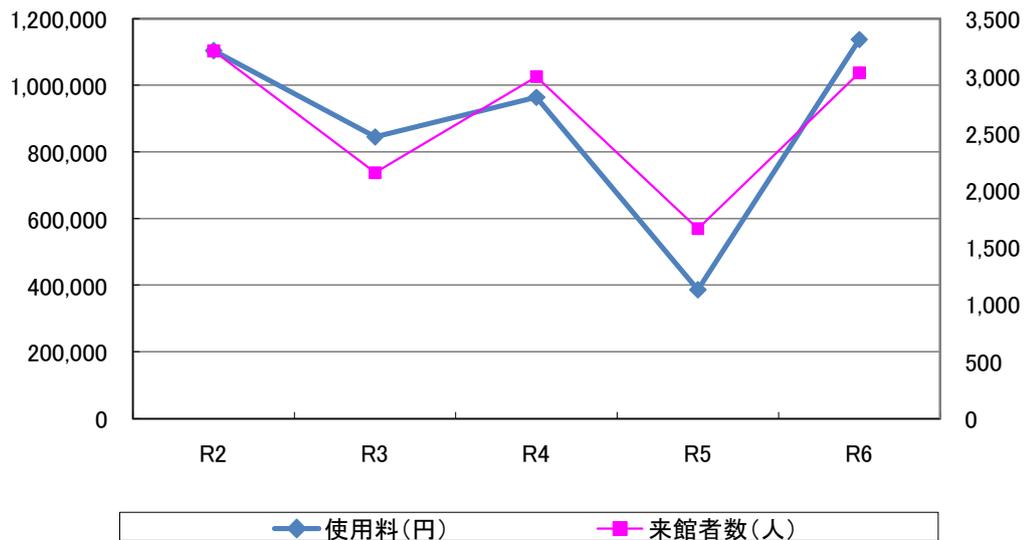
入館者数・入館料

R 6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数 (日)	22	23	26	26	26	14	23	25	6	19			210
入館者数 (人)	48	77	154	52	52	390	989	1,121	98	45			3,026
入館料 (円)	9,550	15,000	29,200	8,600	9,100	151,000	382,700	492,900	31,900	7,200			1,137,150

過去5年間の推移

区 分	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	
開館日数 (日)	222	194	198	206	210	101.9%	
来館者数 (人)	3,217	2,151	2,992	1,661	3,026	182.2%	
(内訳)	一般 (個人)	2,352	1,833	2,076	969	2,381	245.7%
	一般 (団体等)	36	0	62	89	17	19.1%
	小中学生	462	43	258	305	155	50.8%
	障がい者等	118	69	94	36	149	413.9%
	無料券等	249	206	502	262	324	123.7%
使用料 (円)	1,103,750	844,900	963,550	386,150	1,137,150	294.5%	

過去5年間の来館者数・使用料の推移



② 図録等販売事業

ア 図録

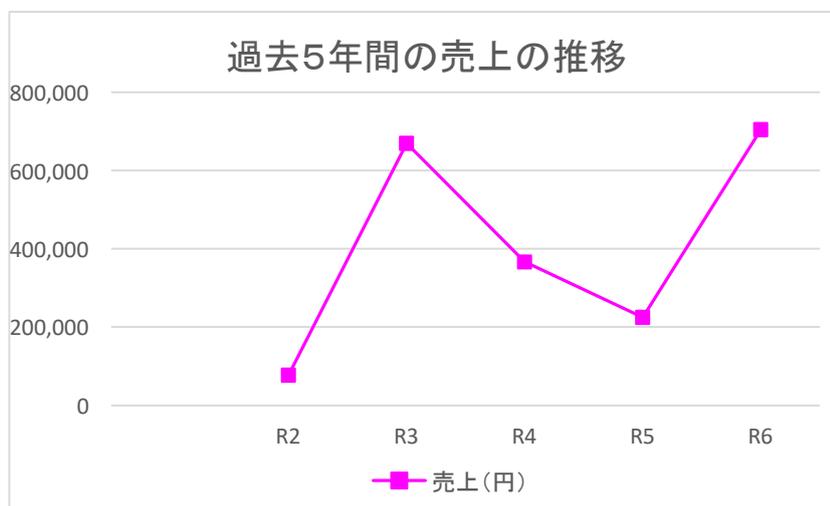
名称		金額	販売数	売上
1	美しき明治のみずゑ	1,500	20	30,000
2	歴史が見落とした画家 吉田ふじを展	1,500	8	12,000
3	雷電と江戸時代展	1,500	6	9,000
4	水彩の明星	1,500	21	31,500
5	人生を変えた絶景	1,500	5	7,500
6	高橋節・高橋久美子 人形展	1,000	1	1,000
7	吉田遠志展	2,000	278	556,000

イ 絵はがき

名称	金額	販売数	売上
絵はがき	100	292	29,200

ウ 5か年推移

区分	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	
開館日数(日)	222	194	198	206	210	101.9%	
売上(円)	77,400	669,400	366,415	224,700	704,090	313.3%	
(内訳)	図録	55,500	568,500	307,500	91,000	656,890	721.9%
	絵はがき	21,900	100,900	58,600	29,200	29,200	100.0%
	販売手数料	—	28113	315	770	18,000	2337.7%



③ 普及活動事業

ア 教育普及事業

No.	日付	内容	学校名等	場所	人数
1	7月6日	夏色ショータイム (Tシャツづくり)	北小1年生	北小	25
2	9月24日	ガラスペイント	北小さくら組	当館	8
3	9月25日	地域学習、対話鑑賞	柵津小2年生	当館	35
4	10月1日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
5	9月13日	ガラスペイント	北御牧小学校さくら組	当館	10
6	10月3日	アイマスク鑑賞	北御牧小学校5年生	北小	35
7	10月8日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
8	10月16日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
9	10月23日	ガラス絵	北小さくら組	北御牧小学校	9
10	11月5日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
11	11月5日	紙コップ30000個	北小3, 4年生	北小	70
12	11月8日	紙コップ30000個	北小1, 2年生	北小	50
13	11月12日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
14	11月19日	卒業制作 (水彩画) 指導	柵津小6年生	柵津小	45
15	12月5日	柵津せんべい	柵津小2年生	柵津小学校	35
16	12月12日	版画	北小1年生	北小	25
17	1月31日	アイマスク鑑賞	滋野小5年生	滋野小	35
				合計	607

イ 地域普及事業、企画展プログラム、研修

No.	日付	内容	場所	人数	
1	9月16日	親子鑑賞教室、絵本読み聞かせ	当館	22	
2	9月29日	吉田遠志展講演、版画摺り実演	当館	125	
3	10月12日	スケッチ大会&アートチャレンジ	芸術むら公園	210	
4	10月14日	吉田遠志展Gトーク	当館	18	
5	10月26日	吉田遠志展 絵本朗読、コンサート	当館	180	
6	11月2日	吉田遠志展 やえはら人形ワークショップ	当館	4	
7	11月9日	吉田遠志展 木版画ワークショップ	当館	6	
8	11月16日	吉田遠志展 やえはら人形ワークショップ	当館	4	
9	1月25日	どんどこ巨大紙相撲大会ワークショップ1/26も開催	中央公民館	300	
11	2月22日	どんどこ巨大紙相撲大会千秋楽	東御市文化会館	300	
				合計	1169

④ その他

ア 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	行事等名	点数
12/20～ 3/31	浅井忠	梅野記念絵画館	モダンデザイン展	4

イ 博物館実習生の受け入れ

専修大学文学部より1名

9月10日～13日、10月12日 計5日間

(1) 令和6年度取得作品(案)について

寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質		サイズ
1	丸山晚霞	印度大雪山霊華石楠	1923以降	絹本	着彩	143 × 51
						
<p>【佐藤聡史 丸山晚霞記念館館長(学芸員) 説明】 インド旅行から帰国後の制作と思われる。状態もよく、共箱あり。当館には良品の軸が少ない。大正期の丸山晚霞の制作として収蔵すべきと考える。</p>						

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質		サイズ
2	丸山晚霞	山巔麗花(仮称)	大正期か	絹本	着彩	51 × 43
						
<p>【佐藤聡史 丸山晚霞記念館館長(学芸員) 説明】 丸山晚霞特有の画題であるが、多くは軸であり額装されたものは当館にはない。状態も良好であり、収蔵すべきと考える。</p>						

写真からの印象批評としては、1923年秋のインド・ヒマラヤ旅行の後、東京国立近代美術館蔵《ヒマラヤ山と石楠花(1924)》から、西宮区所蔵《溪谷と山嶺麗花(1930)》を経て、後の「高山植物山水」に至る一連の作品の中に^{おの}自ずと位置付けられよう。晩年作のような形式化(山岳と植物の概念化/図鑑化。所謂「^{いぢまる}荒廃した絵」)にまで進んでいないところから見て、30年代前半までに納まるか。

石楠花に関しても濃紅色や薄桃色のヒマラヤシャクナゲを意識して描写しているが、同時に既にボタニカルアート化しているとも見^み做し得る。そして遠景のヒマラヤの雪嶺の姿形が、ヨーロッパアルプスの実景《インターラーケン(1911)》にも似ていることから、いわば「海外の高峻な山岳」の記号化を^は嵌めた感もある。共箱の落款も含めた晚霞のサインについては、大きく記された「霞」の文字と続く「生」の相対的位置関係にも多くの例があり、年代的に矛盾はない。

総合的に見て、日本画的作品全般がそうであるように、様式論による正確な年代推定は困難ともいえよう。しかしながら一連の軸装作例の中では精緻さもまだ生きており、個人向け作出としては存在感を示している。こうした作品群の中の佳作として、寄贈の受け入れには相応しいと評価し得る。

絹本に日本絵具と思しき顔料を上手く生かしつつ、額装が当初からのものとする、洋画風をも意識した作例となっている。前景のハイマツと石楠花は輪郭を強調しない没骨描法で表現され、逆に中景・遠景の山々には敢えて確かな線描を取り入れることによって、云わば鉛筆スケッチ^{プラス}淡彩風の作品としている。

絹本彩色の所謂日本画に分類されるものであるが、遠景の山岳のより臃^{おぼろ}で霞^{かす}んでいる描写、大気中の湿度・水蒸気を感じさせる空気遠近法なども、一般的な水彩画のセオリーを踏まえている。そうした中でのこうした遠景への線描輪郭表現は、むしろなかなか意欲的と評価されるべきかもしれない。

晚霞が学んだ画塾である彰技堂も、晚霞と親しかった吉田博の出身塾・不同舎がそうであったように、明治期の洋画塾は鉛筆の線描を重視した。したがってこうした表現が相応の完成作品に採用されていても違和感はない。旅行時の画帳における線描を見るまでもなく、晚霞のスケッチ力は非常に高い。

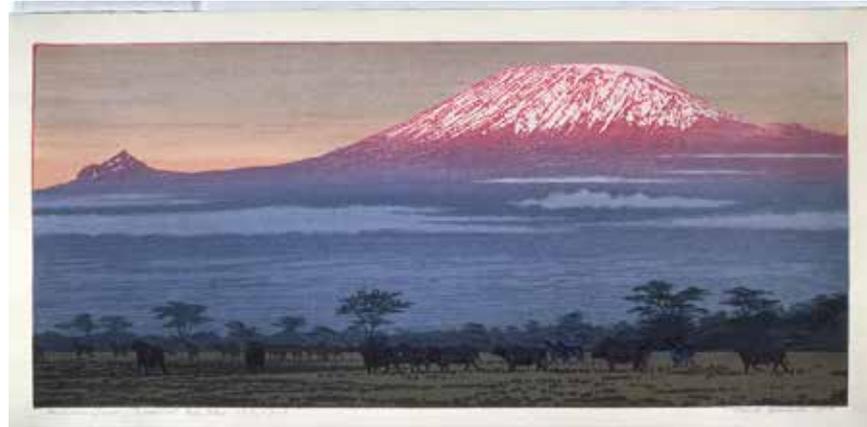
上田市立信濃国分寺資料館 学芸員

滝澤 正幸

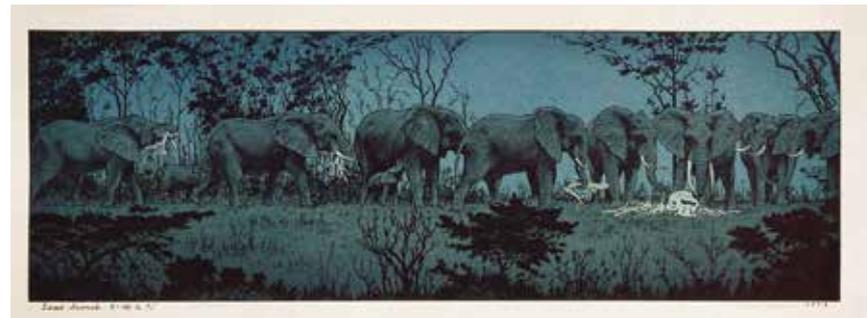
吉田遠志 寄贈作品



時速 115 キロ
1983 年
木版
40.5×119



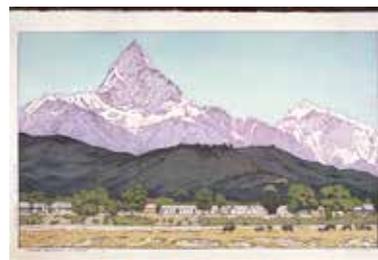
キリマンジャロ SP エディション
1984 年
木版
27×60



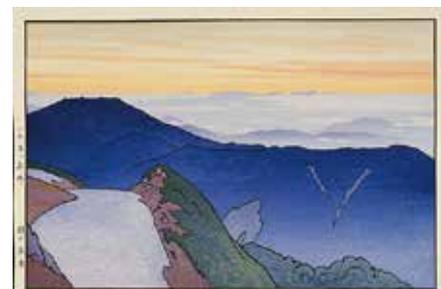
かれえだ
1993 年
木版
20×60



東アフリカの夕
1977 年
木版
30×50



マチャプチャリ
1987 年
木版
30×50



朝の燕岳
1951 年
木版
24×37

7 点
寄贈者 吉田司氏 (遠志五男)



早春の安曇野
1989 年
木版
20×31

(2) 令和7年度事業計画（案）について

事業総括表

月	常設展	企画展	普及事業
4	常設展1 水彩の明星 4月5日～6月29日		
5			
6			
7	常設展2 水彩の明星2 7月5日～10月5日		
8			
9			スケッチ大会&アートチャレンジ
10	※八十二文化財 団へ丸山晚霞作 品貸出（10/6～ 10/21）	素敵！ 水彩画（仮称） 10月25日～12月14日	
11			水彩ワークショップなど
12			
1	常設展3 水彩の明星3		どんどこ！巨大紙相撲大会WS
2			どんどこ！巨大紙相撲大会
3			

企画展について

- 1 名称 「素敵！ 水彩画（仮）」
- 2 会期 令和7年10月25日（土）～令和7年12月14日（日）（予定）
- 3 場所 丸山晚霞記念館、東御市文化会館展示室
- 4 主催 東御市 丸山晚霞記念館
- 5 協力 郡山市立美術館、個人コレクター、志賀秀孝氏
- 6 助成 宝くじ 地域の芸術環境づくり（申請中）
- 7 入館料 一般（高校生以上）500円
- 8 概要 郡山市立美術館及び個人コレクターの明治期水彩画のコレクションを中核にし、日本、特に明治期における水彩画の歴史を大局的に展観できる内容とする。この時期に精通している志賀秀孝氏をゲストキュレーターとする。
アルフレッド・パーソンズ、アルフレッド・イースト、ジョン・バーレーJr、ワグマンJr、五百城文哉、丸山晚霞、大下藤次郎、三宅克己、吉田博、小杉未醒、中川八郎、河合新蔵、鹿子木孟郎、沼辺強太郎、川久保正名、浅井忠、牧野克次、間部時雄、相田直彦など

普及活動について

- ① 小学校や中学校における教育普及
 - ・ Tシャツづくり（北御牧小学校）
 - ・ 卒業制作（水彩画）指導（祢津小学校）
 - ・ 紙コップWS（希望校）
 - ・ 対話鑑賞（市内全小中学校）
 - ・ 祢津せんべい作り（祢津小学校）
 - ・ 版画ワークショップ（北御牧小学校）
 - ・ 特別支援学級の子どもを対象としたアート授業（北御牧小学校）
 - ・ 社会福祉協議会子ども居場所づくり事業との連携（くるmeここから）
- ② 地域における普及
 - ・ スケッチ大会&アートチャレンジ
 - ・ アーティストによるライブペイント
 - ・ どんどこ！巨大紙相撲大会
 - ・ 祢津せんべい普及活動（各種催事等への出店）
 - ・ 保育園へのアウトリーチ（遊びを通じたアート活動を想定）